



今回のスカイプは、10月21日以来で4回目となる。前回同様、SDGs(持続可能な開発目標)達成に向けた取組を視野に入れて実施した。また、新型コロナウイルスの状況や両校での対策について情報交換をした。

【スカイプ交流】

前回同様、本校生徒6名は3グループに分かれて参加し、相手校(MSR校)にはニューフェイスが加わった。

第1グループ(目標6:安全な水とトイレを世界中に)

「バンコクの気候はどうか→のどが渇くことはないか→給食の際に飲物はでるのか→水が入ったペットボトル(500ml)1本いくらか→ジュースのペットボトルはいくらか→家庭の水道水は飲めるのか」という流れで質問していった。ペットボトル500mlの価格の比較は右表の通り。バンコクでは家庭の水道水は飲料には適さないため、水のペットボトルは必需品となり安く抑えられているようだ。日本の水のペットボトルの価格設定が高いのは、自動販売機に並ぶその他の飲料に価格を合わせているのか、その価格のほとんどが輸送費と言ってもいいだろう。風呂やトイレで使う水については、次回のスカイプでの話題とする、

第2グループ(目標3:すべての人に健康と福祉を)

「祖父母はいるか→どこに住んでいるか→同じ家(敷地内)に住んでいるとしたら、どういう形で住んでいるか(全くの同居か二世帯住宅か)→介護サービスにはどのようなものがあるのか」という流れで質問していく予定であった。ところが、MSR校の生徒が「祖父母二人とも早くに亡くなってしまった」と答えたためその後の質問を続けにくかった。それでも、「日本は高齢化が進んでいる。我が家では祖父母は同じ敷地内に住んでいるが、一般に独居老人も多く、また介護施設に入っている老人もいる」と切り返し、「訪問サービスや老人ホームというサービスはあるのか」という質問に切り替えた。バンコクでもそれと似たようなサービスがあると回答があった。タイでは高齢化社会が急速に進行しつつあると言われている。タイの人たちは家族をととても大切にするとよく耳にする。一方で、子供を育てた側が自分たちの老後を全て子供に任せてしまっていないか心配ではある。タイの年金制度は20世紀末にやっと始まったと聞く。次回のスカイプでは、そうした老後の問題に対して若者がどう考えているのかたずねてみたい。

第3グループ(新型コロナウイルス感染症の状況と学校での対策)

バンコクでの新型コロナウイルスについてたずねると、“come back”というフレーズが一斉に返ってきた。次に学校での新型コロナ対策について話題にした。主な項目について比較したものが右表である。バンコクは乾季とはいえ12月でも気温が30℃を超えると聞かすが、エアコンは作動させていないとのこと。

今回のスカイプでは、新たにスカイプに参加した男子生徒がとても英語が堪能であった。ただ我々日本人もそうだが、東洋訛

りの英語に戸惑う場面がかなりあった。それでも途中でMSR側からの要望で、日本語で「おはようございます」、「こんにちは」、「こんばんは」、「おやすみなさい」の反復練習を楽しくできるなど、親交が深まった。次回のスカイプは12月16日(水)とし、今回の話題をさらに発展させていくつもりである。



目標	日本	タイ
6 安全な水とトイレ	黄	黄
3 健康と福祉	黄	赤

表中の色は、赤→橙→黄→緑の順に達成度が高くなる
<https://dashboards.sdgindex.org/rankings> から抜粋

ペットボトル 500ml	日本	バンコク
水	150円	25円(7パーツ)
コーラ	150円	53円(15パーツ)



	本校	MSR
登校後すぐに手指消毒	○	?
マスク着用	○	○
毎時間、教室換気	○	○
昼食時	対面不可	対面不可
距離をとる	2 m	1 m